

福岡工業大学 図書館報

Vol. 24

図書館報 Vol 24 2007年1月発行

編集発行 / 福岡工業大学附属図書館
〒811 0295 福岡市東区和白東3 30 1
TEL(092)606 0691(ダイヤルイン)
FAX(092)606 7389
ホームページ <http://www.lib.fit.ac.jp>
e-mail tosyo@fit.ac.jp

Welcome to our library !!



初春に薫るおとめが池の寒梅

図書館からの
お願い

本の返却を 忘れていませんか？

1～3年生の皆さんへ

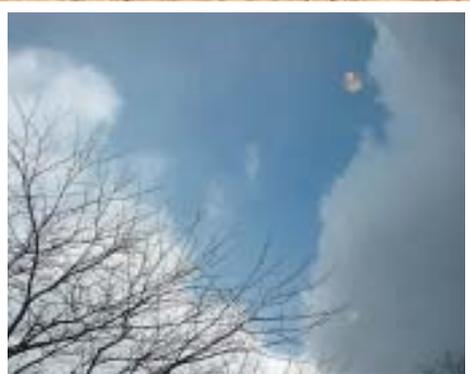
返却期限の過ぎた図書館の図書、雑誌、CDがお手許にありますか？返却期限の過ぎた資料を持っていると新たな貸出ができません。学年があがる前にもう一度確認して新年度を迎えましょう。図書館HPから貸出情報が確認できます。ご利用ください。

平成19年3月に卒業・修了予定の皆さんへ

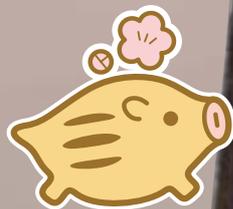
平成19年2月28日(水)が資料返却の最終期限となります。それまでに貸出中の資料をすべて返却されなかった場合は、図書館利用規程に基づき卒業判定教授会において、「卒業保留」となりますのでご注意ください。紛失・破損などしている場合は手続きに時間がかかりますのでお早めに図書館カウンターまでご相談ください。

本学の卒業、修了後、附属図書館の利用を希望される方は、図書館カウンターで図書館利用カードの登録手続きを行ってください。

- ・有効期限 1年間(4月から翌年3月31日まで)
- ・貸出冊数 図書5冊まで 雑誌/CDは貸出不可
- ・貸出期間 15日間



冬の合間の青い空



図書館 TOPICS ~ 図書館の1年を振り返る ~

データベース講習会（5月10, 11, 17日）

初めての試みとしてデータベース講習会を行ないました。現在図書館で導入している論文や雑誌記事などの文献検索データベースについてより多くの利用者に知ってもらい、研究や学習に活用して欲しいと、各社から専門の講師を招いた講習会となりました。

卒業研究生・院生・教職員などたくさんの方の参加と説明・検索実習・質疑応答などでパソコンルームはデータベースの利用法習得の熱気に包まれました。



蔵書点検（8月21~29日）

蔵書点検とは「図書館の資料があるべき場所に正しくあるかを確認する作業」です。

資料1冊1冊のバーコードを読み取り、所蔵のデータと照合していきます。年1回の図書館の重要な業務で、今年は閉架書庫の資料約12万冊の点検を行ないました。行方不明になっている資料の調査、書架整理もこの蔵書点検の作業に含まれています。点検を行なうことで、配架場所やデータの登録ミスなどがわかり、正しい状態に直すことができます。時間と労力のかかる業務ですが、資料が正しい場所にあること、書架がきちんと整っていること、それが図書館の利用者サービスの『原点』と考えています。

図書館ホームページリニューアル（10月1日）

図書館ホームページリニューアルしました。

こちらへ
アクセス



<http://www.lib.fit.ac.jp/>

2006年10月から図書館ホームページが全面リニューアルしました。ページデザインを一新し、従来より一層見やすく、使いやすいページとなりました。

①福工大蔵書検索

福工大図書館の蔵書検索（OPAC）が行える他、本学所蔵の新聞・洋雑誌・AV資料・指定図書などのリストも掲載しています。

②情報検索

データベース・電子ジャーナル・リンク集など、効率良く情報収集を行うためのツールが満載です。

③Web サービス

貸出状況照会・文献複写依頼・図書購入申込・定型文書ダウンロードなどホームページ経由で行えるサービスを提供しています。

④目的別ナビ

「図書館を使う」「探す・調べる」など訪問者の目的に応じたページへ素早く案内します。

②、③は学内者専用サービスを含みます。学内LANに接続されたパソコンからのみ利用可能です。

古本リサイクルフェア（11月3日）

秋のキャンパス見学会の一環として図書館では「古本リサイクルフェア」を開催しました。今年は立花祭の模擬店の並ぶ中、学生のみなさんに混じってテントを張り参加させていただきました。古本は本学教職員の方々から提供していただいたものや、図書館の廃棄雑誌などで、古本といえども今話題の本やまだまだ新しい本もたくさん並び古本市となりました。キャンパス見学会・立花祭を訪れた方々が足を止めて本を探す光景が見られ予想以上の盛況ぶりに図書館としても嬉しい1日となりました。また図書館では学科別やテーマ図書などを展示し、施設開放を行い、多くの来校者に図書館を見学していただきました。（当日古本リサイクルフェアにおいて実施した募金には5,074円もの金額が集まりました。これらはすべて赤い羽根募金に寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。）



福岡県・佐賀県大学図書館協議会平成18年度福岡地区研究会（11月24日）

福岡県・佐賀県大学図書館協議会は相互の連携と協力を通して大学図書館の改善向上を図ることを目的としてさまざまな活動を行っています。その活動のひとつである福岡地区研究会が平成18年11月24日本学において開催されました。県内大学図書館14館20名以上の出席があり、『図書館サービスの充実について』をテーマに事例発表などが行なわれました。（本学は18年度の当番館でした。）



私のおすすめ本

「温暖化の〈発見〉とは何か」

情報通信工学科 教授 熊谷 博夫

S.R. ワート / みすず書房



日常生活に埋没していても毎年の気候の変動に関しては心配になるものの、専門家からそれは炭酸ガス CO₂増加による地球温暖化の表れであり、CO₂を減らせば解決するかのごとく説明されると、なんとなく納得させられかねない。

この本では、気象学者たちによる地球温暖化現象の〈発見〉の歴史を、科学的立場から描いている。気温の上昇と CO₂濃度の上昇との関連を示す厳密な測定データが発表されたのがごく最近の1960年だったという背景は、戦後の冷戦とのかかわりで興味深い。その後氷河などの CO₂濃度測定により、地球の気候変動が非常に短い数十年単位でも生じていることが分かる。1964年に地球気候変動の長期・短期機構を説明する計算機シミュレーション式を提案したのは日本人の真鍋である。それが現在も基礎になっているが全てを説明しようとするためにパラメータが多すぎるなど、身につまされる。1990年ごろから気象学者が政治の舞台に出始め、国際的な CO₂対策を要望し始めたことと、研究費増額の要望との関連など、科学社会学の典型例として教育的である。少数の学者は、同じ測定データから逆に地球の温暖化傾向が原因なのであり、結果として CO₂ガス濃度が上昇しているのだと主張している。地球は複雑系なのである。

この本は 本学で所蔵。451 85 / W 3階話題書コーナー にあります。



教務課 倉本 育江

「夜のピクニック」

恩田 陸著 / 新潮社



作者の恩田陸さんは物語の名手です。「夜のピクニック」は、高校の伝統行事で年に一度全校生徒が一昼夜歩くという歩行祭をめぐるお話で、主人公の貴子はそこで小さなかけをします。

このただ歩くという行事をめぐる、様々な登場人物の様々な思いが錯綜します。

お話の中で、主人公たちの繊細な心の動きが鮮やかに描かれていきます。読み出すと次がどうなるのかが知りたくて、途中でやめられなくなるおもしろさです。そして、読み終わるとさわやかな思いが心に広がり、すがすがしい気分になります。

また、この本は書店員が一番売りたい本を決める本屋大賞の2005年度を受賞作品で、映画化もされた話題作です。本学図書館にあるので、物語を読んでわくわくしたい方には、是非、お勧めしたい一冊です。

この本は 本学で所蔵。913 6 / 0 3階閲覧室 にあります。

みんなの声

一つ上の自分に
成長するために

社会環境学科3年 小野 一成さん



私は一年生の時から図書館を利用しています。その主な目的は、環境に関する新聞記事を集めることと、自分の知識や考え方の幅を広げるためです。図書館には様々な新聞がありますが、その中で自分のイメージにあった新聞を選んで集めています。そのほか、雑誌類のコピーや勉強の場として利用しています。

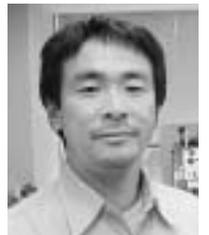
私にとって図書館とは、新しい出来事を発見できる場所だと思っています。なぜならば、誰かに教えてもらうことだけに満足せず、自分の興味や関心を常に持ち続けることを大切にしているからだだと思います。図書館という場所は、利用する人の考え方によって様々な形に姿を変えることのできる空間だと思っています。その反面、マナーやルールを守り利用することも忘れずに、みなさんも自分なりの図書館の使い方を見つけてみてはいかがでしょうか。



研究室訪問

電気工学科 高原研究室

A棟6階



高原先生

研究室に入った瞬間目に入ったのは、大型の工作機械や水素発生の制御装置などの数々。高原先生の専門は制御工学。「このコイルを振ると、ここに繋がってる小さい電球が点くでしょう、例えばこうした装置を車のサスペンションに取り付ければ、走行中の振動で自動的に発電される、その発電を『制御』するのが制御工学」 目の前で実物を見ながらの説明に、訪問目的を忘れてしばし聞き入る。

続いて恒例の本棚チェック。早速目に入った学術雑誌は『電気学会誌』『電気学会論文誌C』『計測と制御』、バックナンバーまでぎっしり。それでも前任の大学に一部寄贈してきたぐらいだとか。さて、インタビューの中で次々に飛び出す作家・タイトル・ジャンルの数々。京極夏彦(本棚にはあの超極太本がズラリ) 竜馬が行く、清水義範、南方熊楠、合気道、スタディスキルズ「来年からカリキュラムが変わるから覚えておかないと」、秋山真之戦術論集「これは心待ちにして買った本なんです」。

研究に興味に、多彩に揃った本棚を拝見でき、先生の新たな魅力を発見した訪問となりました。



バックナンバーまでズラリの電気学会誌・論文誌



心待ちにして買った「秋山真之戦術論集」

話題の書棚から

ニッポン、祖国、美しい国、国家・・・日本って本当はどんな国？これからどんな風になっていくのだろうか？などと考えたことはありませんか？今改めて自分たちの国を見つめなおしてみようという動きが世の中に出てきました。今回は全く違う角度から見た「日本」という国について書かれた本をご紹介します。



『この国のけじめ』

藤原 正彦 編

914.6 / F
(3階話題書コーナー)

数学者であり、エッセイストでもある氏の著作『国家の品格』（新潮社）は今年度のベストセラーとなりました。それは日本という国が近年大きく変化していく中、かつて大切にされていたものを見失う危機感を日本人自身が一番抱いている結果とも言えます。その本の柱石となった『この国のけじめ』でも著者は国家や日本人としての在り方を強く問っています。著者の目は鋭くきびしいものですが、中にはユーモアや笑いをちりばめた身の回りのエッセイなども収められています。

『ニッポンの食卓；東飲西食』

石毛 直道 著

596.04 / I
(3階話題書コーナー)



表紙からして少し軽いノリの本のようですが、国立民族学博物館名誉教授の肩書きを持つ民族学者によって書かれた食文化エッセイです。食いしん坊で、料理好きという著者が仕事で世界中を食べ歩いて収集してきた食べ物にまつわるルーツやウンチクという知識を披露してくれます。またワールドカップさながらに食世界各国の食材が並ぶ現代日本の食卓の上から見える「ニッポン」が語られます。楽しく美味しいエッセイに、読んでいくうちにお腹が鳴るかもしれませんね。

図書館の現場から 第3回 資料管理編

～図書館業務をクローズアップ～

資料管理の中で最も時間を費やすのが「書架整理」です。書架整理とは乱れた書棚の整理をすることで、職員はこの作業を定期的に行います。書棚に納まらなくなった図書は他の場所に移動し、書棚の案内板や見出しの修正をします。また、毎年夏には、1ヶ月かけて「蔵書点検」を行います。これは蔵書の所在状況を明らかにするために行う作業です。約10万冊の図書をバーコードリーダーで1冊1冊読み込み、不明、破損している図書などを確認します。図書館の資料管理は根気が勝負の仕事です。



図書館の豆知識 まめ3

～知っててトクする図書館のはなし～

【BDS】

正式名称はブック・ディテクション・システム（Book Detection System）資料盗難防止装置を指します。分かりやすく言うと、レンタルショップ等でよく目にする、あの万引防止ゲートのことです。正規の貸出手続を経ないで資料を持ち出そうとすると、特殊なセンサーが感知し、とてつもない警報音を建物中に轟かせ、出口ゲートは頑強にロックされ、2度と悪いことはしませんと反省を促しつつ不正持出を死守する というのがBDSの役割です。本来アメリカの3M社製の商品名だったものが、現在では他社の同様の装置も総称してこの名称で呼ぶことが多いようです。

ちなみにどのような仕組みで不正持出を感知しているのかと言うと・・・企業秘密です。どうすればBDSの目をかいくぐる事が出来るか、なんて考える前に、皆さん不正持出は絶対にやめましょう！

Top Ranking 話題書コーナー 貸出BEST5

(平成18年4/1～11/30)

- 1 あなたは白石さんをご存知ですか？
生協の白石さん (049 / S)
白石昌則、東京農工大学の学生の皆さん(講談社)
- 2 ミリオンセラー「キッパリ！」の第2弾
スッカリ！たった5分間で余分なものをそぎ落とす方法 (159 / K)
上大岡トメ 著 (幻冬舎)
- 3 2006本屋大賞受賞作
東京タワー：オカンとボクと、時々、オトン (913 6 / R)
リリー・フランキー 著 (扶桑社)
- 3 児童書に加筆修正した一般向け文芸書
ハッピーバースデー (913 6 / A)
青木和雄、吉富多美 作 (金の星社)
- 5 このミステリーがすごい！ 2006年版 国内編・第1位
容疑者Xの献身 (913 6 / H)
東野圭吾 著 (文藝春秋)

Top Ranking 雑誌

貸出BEST5

(平成18年4/1～11/30)

- 1 **NHK 英語でしゃべらナイト**
2006年4月号 (株式会社アスコム)
- 2 **トランジスタ技術**
2006年3月号 (CQ出版社)
- 3 **TOEIC Test プラス・マガジン**
2006年5月号 (リント)
- 4 **I/O 別冊 「体験！3DNA デスクトップ」**
2004年3月 (工学社)
- 5 **日経 Linux=Nikkei Linux**
2006年4月号 (日経BP社)



雑誌も豊富にとりそろえています